



11th

レディース チャレンジャークップ

表1 10月31日時点での賞金上位30選手

順位	LCC順位	登番	選手名	獲得賞金額
1	—	4502	遠藤 エミ	52,762,000
2	—	4546	浜田亜理沙	40,747,166
3	—	4590	渡邊 優美	37,808,866
4	1	4208	三浦 永理	37,733,000
5	—	4482	守屋 美穂	34,958,000
6	2	4123	細川 裕子	31,536,999
7	3	4387	平山 智加	30,166,866
8	4	4183	宇野 弥生	29,823,932
9	5	4961	西橋 奈未	29,463,000
10	6	4627	藤原 菜希	29,424,162
11	7	4450	平高 奈菜	29,119,500
12	8	3618	海野ゆかり	27,995,000
13	9	3435	寺田 千恵	27,417,428
14	10	4190	長嶋 万記	26,662,000
15	11	4433	川野 芽唯	26,326,982
16	12	4286	平田さやか	25,780,930
17	13	4050	田口 節子	25,602,190
18	—	4963	實森 美祐	24,686,000
19	14	3232	山川美由紀	23,624,000
20	15	3188	日高 逸子	23,516,848
21	—	4289	落合 直子	23,478,029
22	16	3611	岩崎 芳美	23,306,260
23	17	4738	清楚 翔子	23,023,000
24	—	4478	櫻本あゆみ	23,003,066
25	18	3999	大瀧明日香	22,911,000
26	19	4017	向井 美鈴	22,669,742
27	20	4642	松尾 夏海	22,557,000
28	—	3900	香川 素子	22,128,000
29	21	4773	中川 りな	20,992,678
30	22	4117	廣中智紗衣	20,880,000

※灰色の選手はLCC不出場

11/19(火)→24(日) ボートレース下関

ボーダー下に有力選手がズラリ! クイーンズクライマックスに向け 最後の切符を掴むのは誰か!?

賞金上位を争う東海勢

レディースチャレンジャークップは今回から出場選手が1人増え、21人になった。これで全員が予選を6回走ることになり公平さが増した。遠藤エミは今回はSGチャレンジャークップに出場するため、こちらには不在。遠藤に代わって主役を務めるのは誰か?

遠藤の他、賞金上位の浜田亜理沙、渡邊優美もF休みで不出場となる今大会。となると今年の勢い抜群の三浦永理が賞金を積み上げたいところ。三浦はこししばらく下関で走っていないが、最後に走った21年1月のオール女子戦ではきっちり優出を果たしている。

その三浦を追うのが同じ東海勢の細川裕子と宇野弥生。細川は7年前の当地LCCで優出2着の成績を残したが、その後、当地では目立った成績を残せていない。一



LADIES CHALLENGE CUP



表2 過去5年のQC最終賞金当確ライン

年	12位選手賞金額	13位選手賞金額	差
2019	¥27,518,333	¥27,510,072	¥8,261
2020	¥27,731,600	¥26,911,666	¥819,934
2021	¥27,210,000	¥26,810,739	¥399,261
2022	¥27,151,500	¥27,135,000	¥16,500
2023	¥28,746,000	¥28,339,000	¥407,000

熾烈なQCボーダー争い!

方の宇野は一昨年のオール女子戦で優勝、今年3月のヴィーナス戦でも上位で予選を突破しており、相性は良さそう。

その他の上位陣、平山智加、平高奈菜、藤原菜希らは下関での近況は今ひとつ。当日のコメント等から調整状況をチェックしたい。

今年の本大会は、上位陣の争いよりもクイーンズクライマックスの出場権争いがより熱くなりそうだ。10月27日時点で、川野芽唯、長嶋万記、田口節子らがボーダー下。ここからいかに追い込むか、そしてレディースチャレンジカップでいかに賞金を積み重ねられるか、気を抜けない戦いが続く。

第4回クイーンズクライマックスで優勝した川野。下関では過去3年で5節出走し優出4回優勝1回とかなりの好相性。ここはチャンスと言えそう。

長嶋は昨年2月の男女W優勝戦以来、久しぶりの下関。しかし、その節は1号艇から王道優勝しており、悪いイメージはない。

田口も22年中国地区選以来と久しぶりの下関。しかし、優出も多く、今大会も主役の一角を担うのは間違いないだろう。

ボーダー下に有力候補がいる分、ボーダー上の選手たちも気が抜けない。特に唯一のクイーンズクライマックス皆勤賞選手、寺田千恵は気が気じゃないことだろう。寺田と言えば10年に当地で行われたレディースチャンピオンで



優勝しており、下関に対する思い入れはあるはず。確実にQC出場へとコマを進めるため、激走必至だ!

過去にはクイーンズクライマックスの出場権をめぐり、獲得賞金額の差が1万円に満たないこともあった。今年もそんな激しいボーダー争いとなるか!?

表3 GIIレディースチャレンジカップ 2017年以降の優勝戦結果

年	場	1着	2着	3着	4着	5着	6着	3連単	払戻金	決まり手
2017	下関	①遠藤 エミ	④細川 裕子	③海野ゆかり	②日高 逸子	⑥長嶋 万記	⑤中村 桃佳	①-④-③	1200円	逃げ
2018	芦屋	①守屋 美穂	④小野 生奈	②今井 美亜	⑥大山 千広	⑤山川美由紀	③日高 逸子	①-④-②	1550円	逃げ
2019	桐生	③遠藤 エミ	①松本 晶恵	②守屋 美穂	⑥日高 逸子	④魚谷 香織	⑤平高 奈菜	③-①-②	3480円	まくり
2020	蒲郡	③寺田 千恵	④長嶋 万記	⑥深川麻奈美	⑤平高 奈菜	②小野 生奈	①守屋 美穂	③-④-⑥	38300円	差し
2021	多摩川	①遠藤 エミ	③西村美智子	②平山 智加	⑥大山 千広	⑤細川 裕子	④鎌倉 涼	①-③-②	1220円	逃げ
2022	鳴門	⑤中村 桃佳	④守屋 美穂	②細川 裕子	①高田ひかる	⑥鎌倉 涼	③田口 節子	⑤-④-②	36790円	まくり差し
2023	三国	③長嶋 万記	①守屋 美穂	④遠藤 エミ	⑥西橋 奈未	②三浦 永理	⑤藤原 菜希	③-①-④	7480円	まくり差し